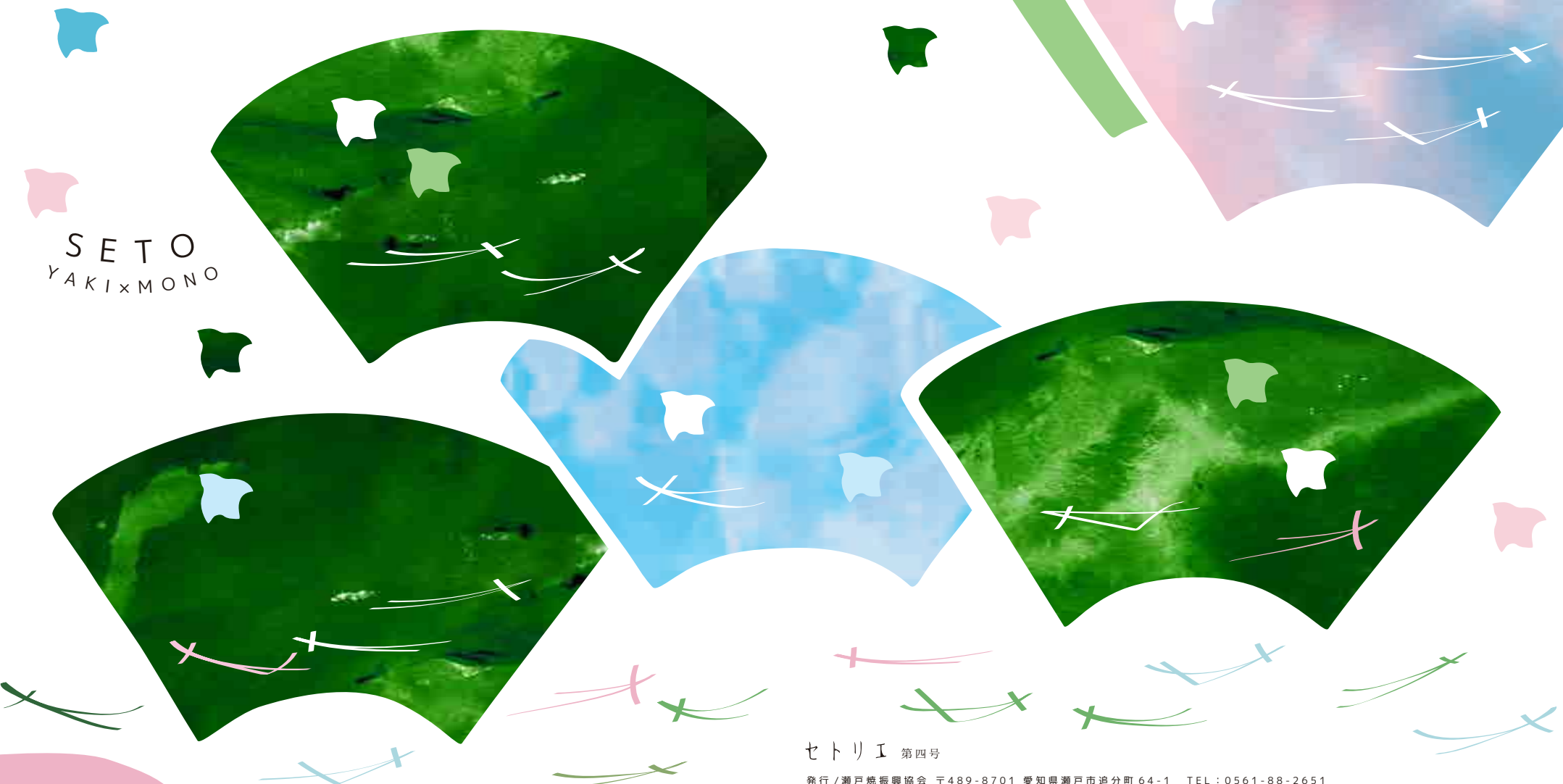


setoyaki style book

セトリ工

瀬戸からはじまるやきもの新生活。

SETO
YAKI x MONO



第四号

セトリ工 第四号

発行 / 瀬戸焼振興協会 〒489-8701 愛知県瀬戸市追分町 64-1 TEL : 0561-88-2651
 E-mail: kogyoshinko@city.seto.lg.jp Web: http://www.setoyakishinkokyoai.jp
 企画・編集 / 日笠真理・岩田舞海 || 写真 / カメイヒロカタ || 意匠 / studio05 || 印刷 / 鬼頭印刷株式会社

トンボで測る

しつぴき、シッタ、トースカン：

作陶の場では「何に使うの？」という

耳慣れない名前の道具が色々あります。

「トンボ」は、同じサイズの器を

いくつかつくる場合に便利な道具で、

器の深さや直径を測って目安にします。

市販品も各種あるにはあるけれど、

つくり手自身が使いやすいよう

自作・アレンジするのがほとんど。

道具を使いやすいように工夫することも、

自分のオリジナルを生み出すための

秘訣なのかもしれません。



とうしろう 陶祖「藤四郎」をしのんで

かとうしろうざえもんかげまさ
瀬戸陶業の祖=陶祖とされる「加藤四郎左衛門景正」(通称:藤四郎)は、鎌倉時代初期の禅僧・道元に従って南宋に渡り、陶法を習得して帰国。その後、やきものづくりに適した粘土を求めて全国行脚へ。深川神社にて神のお告げを受け、^{うばがふところ}祖母懐に良質の陶土を発見、瀬戸の地に窯を開き、製陶を広めたと伝えられています。その陶祖の偉業をたたえ祀り、深川神社東隣に陶彦社^{すえひこ}(1824年)、陶祖公園にやきもので作られた碑としては国内最大級の六角陶碑(1867年)が建立されました。

毎年4月開催の「せと陶祖まつり」では、陶祖供養や御物奉獻行列、せともの楽市などで賑わい、瀬戸焼のつくり手も藤四郎の偉業をしのび感謝の意を捧げます。また、平成24~26年度には『陶祖800年祭』を開催。まちをあげて陶祖の功績をたたえ、陶都・瀬戸を盛り上げています。



陶祖・加藤四郎左衛門景正
(瀬戸蔵ミュージアム 蔵)



「分割するかたちカップ&ソーサー」長江重和さん／「自家焙煎珈琲」Coffee SAKURA 大西文明さん

ゆたかさのかたち

鋳込みと珈琲

香り立つ、「個」の色。

千年以上の「やきもの」の歴史を有し、日本屈指の一大窯業産地へと発展してきた瀬戸。大量生産を可能にしたのが、石膏型に泥漿（でいしょう）液状の粘土を流し込んで成型する「鋳込み」の技法だ。

同じ物を大量に生産でき、何度も再生が可能な型の仕事。一方で、ろくろなどの手づくりとは対極にイメージされ、「無個性」と捉えられがちな面もあった。そうした概念を変え、より自由に有機的に表現できる鋳込み技法を探索し、「創作」に心血を注ぐ手づくりの存在は大きい。

「個」を湛えた潔白なカップに、ひとつずつ手摘みされた豆の芳香が満たされる瞬間、手づくりそれぞれの思いも鮮やかに浮かび上がる。

型にとらわれない
創意をそそぎこむ。

瀬戸に伝わる「ねこなし皿」という言葉。「寝ることなし」（寝る間も惜しんで）たくさん焼かなければ儲けにならない「皿」を意味し、陶磁器の一大生産地としての瀬戸を物語る。その大量生産を支えたのが、明治期に西洋から導入された「鋳込み」という技法。長江重和さんは、型を使った鋳込みでオリジナリティの高い創作を追求し続けている。

長江 重和さん



皿と呼ばれてきたような量産の仕事が嫌で、最初はろくろで作陶をしていたんです。それが、作品の精度を追い求めていく中で鋳込みを使ってみたら、非常に面白かった。一九七九年の中日国際陶芸展受賞がきっかけで、周囲もそれまでの固定観念や偏見が一転し、型への再認識が高まってきました。

鋳込みでの多彩な表現に挑む長江さんが、新たな感覚と出会った印象深いエピソードがある。ある和食店で食事した際、自分の器が使われた料理を目にして、衝撃が走った。カップとの連結を分割したソーサー側のくぼみに盛られた、デザート。そこにはつくり手である自分の想像をはるかに超えた創意と「用途」があった。

「商品として納めることを考えると、どうしても使いやすさに気を置いてしまい、そこに表現の限界を感じることも多

かった。それがその瞬間、バツと暗れたんです。自分の思う以上にレベルの高いつかい手がいるならば、手づくりとしていちばんいいと思うものを創り続けようと強く思いました。

瀬戸市内で「Coffee SAKURA」を経営する大西文明さんは、自ら厳選したコーヒー豆を自家焙煎。その生活や文化背景も伝えたいと、原産地農園にも足を運ぶ。

「真のゆたかさや幸せは、利益や数値で決められるものではなく、その人自身が感じるもの。コーヒーの味わいにも通じますね。」

手づくりの熱い思いとつかい手の感じ方が溶けあうことで、ものづくりはよりゆたかに、味わい深く育まれる。

大西 文明さん

Coffee SAKURA
愛知県瀬戸市みずの坂5-123
TEL: 0561-48-7322
営業時間: 9:00~18:00
定休日: 木曜日
<http://www.coffeesakura.jp>

長江重和 工房
愛知県瀬戸市中品野町37
TEL: 0561-41-0317
<http://www.yufuku.net/nagae>



空
間
陶
美



絞染めにも似た華やかさが

日本的な紅白のダリア。

かつて西洋人が憧れた

シノフズリーをも想わせる。

黄瀬戸のしっとりとした艶、

たっぷりとしたふくらみを

内包するその「余白」に、

つかい手の心が手が動かされる。

間と器。

静寂のなか呼応し合い、

満たされる喜びがそこにある。

—— 器の案内人 日笠真理

テーブルウェアから生活空間、そして
都市空間まで、すべてを装飾・演出できる
ことも瀬戸焼の特色。中でもつくり手が
自らの創意を注ぎ込んで作陶する花
器は、空間を芸術へと昇華させる力を秘
めています。陶肌を彩る自然を借景に、
華を生ける。その「間の美」が、くらしを
豊かに描きます。

黄瀬戸草花紋花入
作助窯 加藤圭史さん
愛知県瀬戸市赤津町85
TEL：0561-82-2505

Floreria Nire (フロレリア・ニレ)
河手久美子さん
愛知県瀬戸市陶本町3-9 アトリエ トレ内
TEL：0565-44-8177 (トヨタオフィス)
<http://www.floreria-nire.jp>



瀬戸福寄せ座談会

招猫団..セトリエ初のお顔合わせに、ようこそ！

狛犬陣..お招きありがとうございます。

招猫団..「陶祖八〇〇年祭」で大忙しですね。深川神社宝物殿でも、陶祖・藤四郎作伝の陶製狛犬さま(重要文化財)の拝観が人気だとか。

狛犬陣..おかげさまで、初詣や「せと陶祖まつり」以外でも人寄せに貢献できるのは、守護像冥利に尽きますわ。そちらも、九月の「来る福招き猫まつり」に「瀬戸」は毎年ぎわってますなあ。

招猫団..「平成の招き猫一〇〇人展」は、全国から仲間が集まって圧巻です！幅広い層に瀬戸を楽しんでもらうきっかけになってもらえれば嬉しいにや。
狛犬陣..子どもたちや若い女性にモテモテで、うらやましい〜

招猫団..陶彦社では絵馬にかわって「お願い狛犬」君が、パワースポット好きの女子に人気と聞きましたよ。やっぱり狛犬さまは、陶都・瀬戸にはなくてはならない願かけアイドルですからね。

狛犬陣..古から今日に至る陶工たちが、仕事の無事と成就を願ひ、私たちをつくって奉納してきた歴史があるだけに、責任も大きいよね。

招猫団..瀬戸には日本最大の招き猫博物館「招き猫ミュージアム」もあるし、私たちもたくさんの人をこのまちに招くことができてる光栄ですよ。

招猫団..瀬戸は明治時代に、全国の陶磁器産地の中で一番最初に招き猫づくりをはじめた地でもあるんです。

狛犬陣..そうなんです！瀬戸の人々にも瀬戸を訪れる人にも、もっと幸せになってもらえるよう、力をあわせてがんばらなくてはね。

招猫団..いぬねこなかよく、福寄せパワーを上げていきましょう！



パワキヤラ大集合！

ホクにも言わせて！

いろんな声をヨセトコ

ワンといえばニヤンでいなか

願い叶えます

撮影協力



五山 楽窯房
愛知県瀬戸市仲洞町80
TEL : 0561-82-2022
<http://www15.ocn.ne.jp/~rakuyou>



招き猫ミュージアム
愛知県瀬戸市薬師町2
TEL : 0561-21-0345
<http://www.luckycat.ne.jp>

招猫狛犬

水野智路さん / 小澤康磨さん / 株式会社中外陶園
深川神社 / 愛知県陶磁器工業協同組合 瀬戸蔵セラミックプラザ / 赤津龍山窯 前川電光さん



撮影協力
snedker スニッカ
 (オーダーメイド家具工房)
 愛知県瀬戸市共栄通5-51
 電話・FAX: 0561-85-5043
<http://www.snedker.jp>

お気に入りのコレクション、旅先で出会った工芸品、先代から受け継いだもの、こころという時に使いたいハレの器等々。「収納し納めて隠す」ばかりでなく、「仕舞う」飾って見せる」という楽しみを持つと、くらしも豊かにふくらみそうです。

リビングやダイニングの顔を創るキャビネットやサイドボードは、シンプルながら存在感のあるものが多いです。果実や木の実をあしらった鉢やコンポート、フラワーベース、オブジェなど、家具をキャンパスに見立て、「描くように」仕舞ってみる。うつわのシルエツト、風合いや色合い、ポリウレム感：積み重ねる写真集や雑誌の背表紙の色もアクセントに、「飾り棚」で魅せるおもてなし。器たちもいきいきとはりきつてくれそうです。



天然無垢材を中心としたスニッカのオーダーメイド家具。
 「ご自宅にうかがい、食器などのサイズや数も見せていただいでびったりの家具をおつくりします。」

オトコのウツワ



「第1回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」グランプリ(藤四郎賞)
 田中良和さん(陶芸家/愛知県北名古屋)
 「作家の個性を楽しむ」

瀬戸市内で自ら採集した土から制作するというテーマに対し、『より土の可能性』というタイトルの作品でグランプリを受賞した田中さん。「より土」と向きあい、思い切った創作にチャレンジしたことで、自分のものづくりの原点を見直し、あらたな可能性が開けたそうです。

田中さんは、受賞作のようなオブジェ作品以外に器も創作。「日常使い」として選んだのは、ご自身が手がけた志野のお皿。伝統的な意匠にもしみじみとした個性が感じられます。ダイナミックなアートと手にしてホッとする器と、どちらも田中さんのものづくりへの真摯な思いが伝わってきます。

「田中良和展」平成26年4月19日(土)～6月1日(日)
 瀬戸市美術館・愛知県瀬戸市西茨町113-3 TEL: 0561-84-1093



写真上…友人からもらったお気に入り。
 写真下…田中さんが作る

器

手を愛でる 飾り棚 かざりだな

「仕舞い」
のここ

「お気に入りの器を大切にしたい」という気持ち、くらしの工夫と手仕事の中にもみつけました。

ひとつひとつ、かたちあるものを伝え継ぐ、心づかい。

瀬戸焼ノート もっと知りたい! 陶都・瀬戸の「えとせとら」

日本六古窯のひとつ瀬戸は、やきものづくりに欠かせない「木節(きぶし)」「蛙目(がいろめ)」など良質の陶土や、ガラスの原料となる「珪砂(けいしゃ)」が豊富に採掘される産地として有名。陶芸の材料を求め、全国から多くの人を訪れます。

【やきものの全てがそろう街 新発見マップ】(A2版)は、愛知県立窯業高等技術専門校修了生が立ち上げた市民団体『柏井窯業』が2013年に発行。ほのぼのとした手描きで、陶土や釉薬、陶芸用具等を取り扱う会社・店舗情報が満載、陶芸を志す人にとってはまさに「お宝地図」といえます。パーティセと瀬戸蔵でも入手できます。

【やきものの全てがそろう街 新発見マップ】お問い合わせ: 柏井窯業 e-mail kasii39@yahoo.co.jp

ヤマダ窯業原料(有)
 陶芸用粘土、釉薬、釉薬原料、陶芸材料等を取り扱っています。粘土は瀬戸、美濃、信楽をはじめ200種類近くの品揃え。全国発送もしてくれます。
 愛知県瀬戸市品野町6-161
 TEL: 0561-42-0121

(資)村上金物店
 金物と言っても、うしろ、カキヘラ、釉ハサミなど全国からの注文や訪れる人も多い、日本一有名な陶芸道具専門店。抜き型等オーダーメイドもできます。
 愛知県瀬戸市銀杏木町56 TEL: 0561-82-2749

(有)水野釉薬
 多彩な焼成サンプルから、希望の釉薬の調合を提案・アドバイスしてくれるのが心強い。中学校や陶芸教室等、少量多品種のオーダーにも対応。
 愛知県瀬戸市川合町75
 TEL: 0561-82-6420

セトミミ Column

「一の鳥居」が参道に復活! 【深川神社～参道入口】



深川神社参道(昭和10年頃)
 (写真提供 フォトスタジオ伊里)

瀬戸の総鎮守・産土神(うぶすながみ)として、奈良時代の創建以来厚く信仰されてきた深川神社。敷地内にビジネスホテルがあったり、参道の商店街は地上にありながら「地下街」と呼ばれているなどの不思議も!?

老朽化のため平成12年から一時撤去されていた「一の鳥居」が、地域の声によって14年ぶりに待望の復活! 瀬戸のシンボルが蘇ります。

深川神社 愛知県瀬戸市深川町11 TEL: 0561-82-2764

<http://homepage3.nifty.com/seto-fukagawashrine>

瀬戸には、オリジナリティにあふれた創作活動に励む若手作家さんたちが多数います。今回は、Potter=陶芸やガラス工芸の世界で活躍する、みずみずしい感性にあふれた女性作家さんを大特集! 「セトリエ」公式Facebookページでも、ぜひチェックしてみてね。



セトリエ動物園
せとの祭やイベントをふらふら見てまわっていると、個性・表情豊かな動物のやきものたちとばったり! 真窯の招き猫はお店番!?



瀬戸の良土に LOVE♪

KATO RIE
加藤リエさん (唐三郎窯とうざぶろうがま)

瀬戸焼に息づく「不易流行」を探求。

「友人が手にしたいと感じてくれる器をつくりたいですね」。瀬戸焼の名門窯元に生まれ育ちながら、自らは美容師の道に進んだリエさん。最先端の流行に触れる中で、逆に家業が培ってきた伝統の良さを再認識し、導かれるように作陶の世界へ。相伝にとらわれず、楽しみに土と向きあう姿が、瀬戸に新鮮な風を呼び込んでいます。
<http://www.touzaburougama.com>

NAKAI AYA
中井亜矢さん (ナカイガラス制作所)

身近に楽しみたくなる、「色彩のアート」。

銀座通り商店街にある工房&ギャラリーショップにて、電気窯でガラスを溶かしたり曲げたりする「キルン(窯)・ワーク」という技法でガラス作品を制作。美大でデザインを学んだという彼女の描く世界は、平面構成とその色彩美に独自のセンスが活かされ、インテリアやファッションに取り入れたい魅力にあふれています。
<http://nakaiglass.jimdo.com>

ワークショップもあるよ



ITO CHIHO
伊藤千穂さん (藤谷窯とうやがま)

瀬戸の若手作陶シーンのリーダー役。

赤津でやきもの作りを学び、独立後は全国で展示会を開催。つくり手が運営するイベント「ユノネホウボウ」実行委員としても大活躍の伊藤さん。織部や黄瀬戸の風合いをモダンに活かした「PATCHワーク皿」や金彩・銀彩を施した抹茶碗など、渋みとアートワークの融合が印象的。おもてなしをランクアップさせてくれる器ばかりです。
<http://chiho-utsuwa.net>



3種の料理を想像してみてね



エスニック料理にもいかが?

KATO MAYUKI
加藤真雪さん (真窯しながま)

伝統の瀬戸染付を、同世代にも使いやすく。

瀬戸染付を代表する窯元として、父、母とともに斬新な器や作品を制作。毎年9月開催のせとの祭「青の広場」や親子三人展では、器好きの女性の人気を集めています。盛って美しく、楽しく、使いやすい、他の器とも新たなマッチングを生みだせる意匠の考案に努めているとか。新作「銀彩ボウル」等、下記販売サイトで購入できます。
<http://www.iichi.com/people/W7372255>

FUJIKAKE SACHI
藤掛幸智さん (ガラス工芸作家)

ガラスの特性を活かした新たな表現を。

まるでクッションのような柔らかさを感じさせる造形と陰影。「これガラスなの?」と思わず触れたくなる作品『Vestige(面影)』。同シリーズ作品は、国際ガラス展金沢2013受賞作。四角い名残を残したまま、吹きガラスの技法でふくらんだり縮んだり変化させるところに、独創的な面白さがあります。瀬戸から世界へ! 期待のガラス・アーティスト。
<http://sachifujikake.com>



コレも実は「吹きガラス」!

KONDO YOKO
近藤葉子さん (現代陶芸作家)

陶の質感、曲線が生み出す妖艶な世界。

ふくよかな球体から伸びる鶴首、花卉のようなフリルの間に見え隠れするちいさな闇。ろくろと手びねりの手法で有機的なシルエットを生み出す陶彫作品は、どこか貴婦人や幕間のDIVAをも思わせます。黒とアイボリーを基調に浮き出たオレンジや焦げ茶は、土と釉薬によるもの。湧き立つ浮遊感が創作の源でもあるそうです。
<http://www9.plala.or.jp/kimio/miracle/yoko.html>



壁掛け式のオブジェです

セトリエさんと体験しよう! 第四回 **か掻き落とし**

赤津地区にあるカントリーハウスで、今回は「掻き落とし」に挑戦!
成型して半乾燥した素地に白い化粧土を塗り、素地の白い部分を鉄筆やカンナで引く掻き、削り落とすことで凹凸やコントラストが生まれます。
全体のバランスを考えて下絵を描くのがコツ。白い部分を生かしたままの仕上げも、おまかせでカラフルな仕上げもあり、早い人では十分分、じっくり描き込みたい人は九〇分ほど。後日素焼きして釉薬をかけ、本焼きして完成。一ヶ月後に郵送または直接来店して受け取るができます。



かわいくてほっとする作品を手がけるオーナー夫人の安藤喜代子さんの指導で、掻き落とし・絵付け体験ができます。



セトリエさん直筆、オリジナルプレートの仕上げは「セトリエ」公式Facebookページにて公開!



ギャラリー・カフェ てしごと屋

愛知県瀬戸市赤津町63 ⑩有
名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅から名鉄バス赤津方面「大松」徒歩5分
●受付時間：9:00～17:00
●定 員：6名
●申込方法：完全予約制 お電話にてご予約をお願いします。
●申 込 先：0561-82-4314
●参 加 費：3,000円～(マグカップ、プレート、ボウルなど)
※焼成後の完成作品の郵送は、別途送料が必要。



いろいろな線が描けちゃいます! byセトリエ



瀬戸の成形技術から生まれる曲面構成が、エンクロージャー(スピーカーボックス)性能を高める。

瀬戸がかわる・瀬戸をかえる

「セラミック・アート・スピーカー」

一九六三年に創業、当初は主に瀬戸焼の陶製人形や土産物等の製造で業績を伸ばした聖新陶芸。しかし、その後の廉価な中国産陶磁器の流入等により、九〇年代後半にかけ事業が低迷、起死回生となったのが容器・土・種をセットにした室内園芸用栽培キットの開発だった。これを機に目新しい発想が次々とヒット商品を生み、現在は同社の主力商品として雑貨市場をリードし続けている。
一貫した企画・生産・販売システムで安定した事業体制を維持する中、代表取締役社長伊勢谷努さんは、二〇〇九年から当時世界でも例を見ない本格的な「陶製スピーカー」の製作に取り組みはじめる。陶器は木製の箱と比べると硬質で、いわゆる「箱鳴り」の質が高く、豊かな低音と音場感を生み出せるのが特長。試行の果てに目を向けたのは、欧米のマーケットだった。
「建築、インテリアにおいても、欧米では伝統文化が捨て去られることなく、現代のくらしに新しい形で受け継がれていくという、脈々としたライフスタイルが息づいている。サウンド的にも完成度が高く、インテリアとしても魅力ある陶製スピーカーを通じて、「瀬戸焼」の技術の真価をあらためて世界に発信していきたいですね。」
瀬戸から日本が誇れる文化の創出をめざし、伊勢谷さんの熱い思いは尽きない。

聖新陶芸株式会社 愛知県瀬戸市東松山町75-1 TEL:0561-87-3902 http://cass.ne.jp

セトリエ字引 | 04. この号でご紹介した記事中の地名や用語等をプチ解説。

<p>【セトリエ】 ①瀬戸+アトリエ=瀬戸のまち全体がやきもの文化を生み出すアトリエという意味。 ②瀬戸焼の魅力を紹介するフリーペーパー。つくり手とつかい手をゆるやかに結ぶ新しい世界を提案・発信。</p>	<p>【型・原型(かた・げんけい)】 粘土等で作られる原型は、型を作るものになる形。原型を用いて石膏などで型を作る。瀬戸で培われた原型や型づくりの高度な技術は誇るべきものである。</p>
<p>【愛知県瀬戸市】</p>	<p>【瀬戸の珪砂(けいしゃ)】 瀬戸はガラスの原料となる珪砂の産出量が日本一であり、ガラス作家の育成にも取り組んでいる。</p> <p>【練り込み(ねりこみ)】 色の違う2種類以上の粘土を、重ねたり練り合わせたりすることにより生まれる模様を用いる技法。「練り上げ」とも呼ばれる。</p>

f「セトリエ」公式Facebookページには瀬戸焼のつくり手情報が満載! <http://www.facebook.com/setolier>

セトヤキ・ギフトで贈り愛

瀬戸の多彩なやきものの中から、プロの目で選んだイチオシをご紹介します。

オモテもウラもカワイイ!
「小物入れ」
「練り込み」



焼成時の土の収縮率や色の組み合わせなど、緻密な計算のもと生まれる多彩な表情。選ぶのも楽しいわ!

「練り込み」
色つきの粘土を何重にも組み合わせると、金太郎飴みたいに切ると、アラ不思議! 表にも裏にも柄があるある。
同じようでもひとつひとつ表情が違う、大小入れ子のマトリョーシカが完成。
女子ゴコロくすぐる仕掛けが楽しい、瀬戸焼の「練り込みマジック」。



みずのともろ 水野智路さん

祖父(水野双鶴氏)、父(水野教雄氏)ともに陶芸「練り込み」の瀬戸市指定無形文化財保持者。三代目となる水野智路さんもまた、芸大で工芸デザインを学んだ後、独自のセンスが光る練り込み作品を創作。小花やパンダ柄など「ゆるカワイイ」お茶碗や雑貨が女性に人気です。
Blog : <http://colorclayworks.blog.fc2.com> 水野教雄陶房: 愛知県瀬戸市東町5 TEL : 0561-84-4150